

〇●〇視覚障がいについて知ろう〇●〇

視覚障がいとは、視覚機能に障がいがあるために、全く見えなかったり見えにくかったりする状態をいいます。

見えにくい状態には、視力が低い、見える範囲が狭い、光をまぶしく感じる、明るいところではよく見えるのに暗いところでは見えにくい、特定の色がわかりにくいなどがあります。しかし、文字や図の色・大きさを工夫すれば見える場合があります。

困っていること

- ・一人で移動することが困難です。
- ・音声や手で触ることなどで、情報を得ています。また、視覚障がいのある人が全員、点字が読めるとは限りません。
- ・人の視線や表情が理解できず、コミュニケーションに苦労します。
- ・点字ブロックの上に、物や自転車などが置かれていると困ります。
- ・文字の読み書きが困難です。また、タッチパネル式の機械はうまく操作できません。

☆「見えないからできない」のではなく「見えなくても教えてもらえればできる」ことはたくさんあります。

サポートするときのポイント

- ・前から近づき、自分から名乗り「〇〇です。よかったらお手伝いしましょうか」など、声をかけてみましょう。
- ・「あちら」「これ」と表現しても理解できません。実際の方向、長さ、大きさなどを具体的に説明しましょう。
- ・誘導するときは自分の肩や腕につかまってもらい、障がいのある人のペースに合わせて進みましょう。